

1	会議名	平成22年度第2回習志野市消防委員会
2	開催日時	平成22年1月26日(金) 午後3時30分～4時30分
3	開催場所	習志野市消防本部4階会議室
4	出席者名	<p>習志野市長 荒木 勇</p> <p>習志野市消防委員会 (6名)</p> <p>委員長 宮本 博之</p> <p>副委員長 石井 友治</p> <p>委員 田畑 富三夫</p> <p>委員 沖本 光司</p> <p>委員 三代川 磐</p> <p>委員 三代川彦博</p> <p>習志野市消防本部 (事務局11名)</p> <p>消防長 土屋恭司</p> <p>次 長 古賀弘徳</p> <p>次 長 郡司好夫</p> <p>中央署長 土本克巳</p> <p>南署長 大堀祐基</p> <p>警防課長 遠藤孝</p> <p>指令課長 鈴木春雄</p> <p>総務課員 3名</p> <p>傍聴者 0名</p>
5	議題及び 会議の概要	<p>議題</p> <p>1 今後の消防体制のあり方について (第2回)</p> <p>(1) 会議概要</p> <p>消防本部の検討プロジェクトにおいて、時代の変化に伴う本市の諸事情と消防環境の進展並びに消防施設の再生についての考察結果から、今後の消防体制について検討を重ねてきました。</p> <p>消防本部の意向としましては、建替えの時期に合わせて施設の統廃合若しくは縮小を図り消防施設の再生に向けて取り組んでいく考えであることを、会議資料に基づき説明し、各委員より意見等が出されました。</p> <p>本委員会としては、重要なテーマであることから本委員会及び消防団を含めた消防関係者等の意見を踏まえ、十分且つ慎重に取り組んでいただき引き続き継続審議することとなりました。</p> <p>(2) 質疑</p> <p>(委員) 現行で十分なのに、建物の耐震性とかで統廃合若しくは縮小、をどこどこを統廃合するのか。</p> <p>(事務局) 具体的な統廃合や縮小についてはまだ決めておりませんので、今後検討していくこととしています。</p> <p>また、統廃合と耐震性とは切り離して考えており、耐震補強には</p>

		<p>多額の事業費を要するため、施設の耐用年数も考慮し、建て替えも視野に入れて検討していく考えです。</p> <p>(委員) 消防業務は現場に早く駆けつけることが一番大事な点である。 そういう意味では、全体の公共施設の統廃合、縮小はあるけど、消防はちょっと違う様な感じがするが。</p> <p>(事務局) 統廃合という方法だけでなく、もう1つの方法としては、施設の縮小と庁舎の面積を建て替えの時期にどうするのかも含めて検討していくつもりです。</p> <p>(委員) 救急車の問題は、現場へ早く来てもらうことである。 しかしながら、受入機関の医療機関との問題もあり、これは、消防の問題でなくて、もう少し広い意味で医療機関との問題がある。</p> <p>(事務局) 習志野市は、約20km²に4箇所の二次病院があり、救急患者の8割が市内病院に收容され、県内でも恵まれております。 また、医師会と市との協議会を設置しており救急活動上の諸問題について協議しております。</p> <p>(3) 意見</p> <p>(委員) 街の変化は、5年、10年経つと道路事情も相当変わるので、消防の配置も今後は考えていかなければならない時代が来るのではないか。</p> <p>(委員) 災害に対する備えという点では、消防施設を減らしてはまずいのではないか。</p>
6	報告事項等	<p>1 実効分遣所建替計画について</p> <p>平成21年度に基本設計の策定を終え、平成23年度に実施設計、平成24、25年度に建設、26年度に既存の取り壊しを予定しております。</p> <p>概要について資料に基づき説明する。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 敷地 全体 1964.94m²(既存 666.91 m² 拡張地 1298.03 m²) ○ 構造 鉄筋コンクリート造 2階建て ○ 延面積 1,000m²程度 ○ 車庫 5台の車両収納可能(はしご車収納可) ○ 仮眠室等 個室型とし、女性職員エリアを確保 ○ 倉庫 化学消火薬剤・機械器具等の保管スペースを確保 ○ 訓練スペース 庁舎前で操法訓練等が可能なスペース及び棟屋に訓練塔を確保
7	問い合わせ	<p>所管課: 習志野市消防本部総務課企画管理係</p> <p>電話: 047-452-1282</p> <p>F A X: 047-454-8151</p>